

佐渡米通信 **こめ〜る** 7月号

☆28年産の生育状況☆

7月25日現在での、コシヒカリとこしいぶぎの生育状況は「平年並み」となっています。出穂期予想はコシヒカリが8月6日頃、こしいぶぎは7月28日頃となっています。



コシヒカリの圃場の様子

7月20日現在の島内の圃場の様子



飼料用米の専用品種「新潟次郎」が出穂した様子

☆穂肥指導会を開催☆

7月11日から16日までの7日間、島内101ヶ所の田んぼで穂肥指導会を開催しました。「佐渡米未来プロジェクト品質向上90」として、平成25年産より、島内100名の「品質向上サポーター」を中核とした高品質米づくりに取り組んでいます。



幼穂の長さを確認しながら、穂肥の施用時期を確認しました。

独自に作成した「佐渡米穂肥適期スケール」がついに完成し、各農家に配布されました。スケールの表面は水の深さを、裏面は幼穂の長さや葉色の目安が確認できるようになっています。



☆能のシーズン到来☆

島内のあちこちにある能舞台では能が行われています。佐渡の能は、佐渡金銀山の繁栄によって生活が豊かになった農業者が、余暇として楽しんでいたものです。佐渡へお越しになった際には、幽玄な能をご覧ください。



☆佐渡米をセーリング選手に提供☆

リオ五輪に出場するセーリングの選手が選手村で食べるお米として、佐渡産コシヒカリ「朱鷺と暮らす郷」を提供することになりました。



セーリング選手がリオ五輪で活躍されることを願っています。

Facebook「佐渡のたんぼにっき」で佐渡の情報を発信中！！

<https://www.facebook.com/jasadotanbo> ※QRコードについてはこちら⇒



編集人：佐渡農業協同組合
 営農事業部米穀販売課 山田・野上
beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp
 発行日：平成28年7月